



『点訳フォーラム』より

【質問】

次の文の中の「そうだ」について質問です。

女性たちがよくどんな目にあっているかを考えればなおさらそうだ。台所とリビングをあわただしく行き来して…

「そうだ」を助動詞と考えて前の語と続けて「ナオサラソーダ。」と、「そうだ」を副詞「そう」と考えて、「ナオサラ■ソーダ。」2つの意見が出ています。

「そう」を副詞と考え「ナオサラ■ソーダ。」でいいのではないかと考えますがいかがでしょうか？

【回答】 てびき 60 ページ 「こ・そ・あ・ど」など



ナオサラ■ソーダ

となります。

「なおさら」は副詞ですので、独立して働きます。「なおさらだ」のような助動詞は付きませんが、うしろに、伝聞や推定の助動詞は付かないと思います。

辞書によると、助動詞の「そうだ」は、動詞、形容詞、形容動詞やほとんどの助動詞に付きませんが、副詞に付くという働きはありません。

6 ……「こ・そ・あ・ど」など

副詞「こう・そう・ああ・どう」、連体詞「この・その・あの・どの・ある・わが」なども自立語なので、いずれも後ろの自立語との間を区切って書く。

こう考える【コー□カンガエル】 こうして【コー□シテ】  
 そういう【ソー□イウ】 そうしてください【ソー□シテ□クダサイ】  
 ああすれば【アア□スレバ】 ああして【アア□シテ】  
 どうなるの【ドー□ナルノ】 どういう【ドー□イウ】  
 どうして帰りましょう【ドー□シテ□カエリマショー】  
 この本【コノ□ホン】 その国【ソノ□クニ】 あの頃【アノ□コロ】  
 どの色【ドノ□イロ】 ある時【アル□トキ】 ある日【アル□ヒ】  
 わが友【ワガ□トモ】 わが師【ワガ□シ】 あくる朝【アクル□アサ】

・ **副詞**…他の文節を修飾する語。用言を修飾することが多いが、名詞や副詞を修飾することもある。活用のない自立語。

点字では、副詞に動詞の「する」が続くときは1マスあける。

はっきり□させる フラフラ□する

本当に■そうですか。(副詞)

**連体詞**…名詞を修飾する語。活用のない自立語。数は少ない。

この その あの どの 大きな 小さな  
 例の いわゆる あらゆる ある いかなる  
 ばかげた ほんの 単なる とんだ たいした  
 たった おかしな わが

〈助動詞の活用〉

種類 (意味)	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
推定 様態	そうだ	そうだる	そうで そうだっ そうに	そうだ	そうな	そうなら	○
	そうです	そうでよ	そうでし	そうです	(そうです)	○	○
伝聞	そうだ	○	そうで	そうだ	○	○	○
	そうです	○	そうでし	そうです	(そうです)	○	○

雨が降りそうだ(様態)

雨が降るそうだ(伝聞)

『点訳フォーラム』より

【質問】

時代物の小説を点訳しております。その本の中にルビがあります。このルビの処理のやり方で意見が分かれています。

①漢字の読みがわかるものは

てびき 192 ページ(3)ルビが言葉の説明などを示していると考え、

カーテン  
・**帳幕** → チョーバク(カーテン)

トップ  
・**首座** → シュザ(トップ)

ホステス  
・**酌取女** → シャクトリ■オンナ(ホステス)

チョーバク・シュザ・シャクトリ■オンナと元の漢字の読みを書きルビをカッコで囲んで「カーテン・トップ・ホステス」と書き、2回目以降は漢字の読みの方「チョーバク・シュザ・シャクトリ■オンナ」を書く。

もう一つの考えは、2回目以降は外来語である「カーテン・トップ・ホステス」のみルビを書く。

②漢字が当て字になっている？

以下の文章です。

ようやく、<sup>セックス</sup>床上之歡に目覚めたあれに、教えてやってくれぬか。旅の護身の剣を教えるのならば、わしにもできる。だが、<sup>セックス</sup>巫山靈雨(のほどきとなると、わしのように無骨な男の手には負えぬ。どうかな、<sup>セックス</sup>萬の兄い。養亀の愉悦を深めてやってくれ。

巫山靈雨の読み方を調べると四字熟語で「ブザン■ウンウ」と読みがあるのですが、「床上之歡」、「養亀」は当て字だろうと思いますが？

フォーラムの Q&A を見ていると当て字が頻繁に出てくるようであれば、点訳書凡例を用いてもいいかどうかという回答を見つけました。

この本の場合は、①②にあるものは、点訳書凡例を用いて書き記した方がいいのでしょうか。

漢字が当て字になっている(床上之歡・養亀)のを、点訳書凡例に上げて、漢字の読みがわかるもの(帳幕・首座・巫山靈雨・酌取女)は凡例には上げず、192 ページ(3)ルビが言葉の説明として、文中に書いてもいいのでしょうか？

当て字が頻繁にでてこないようであれば、点訳挿入符をつかって書いたらどうかなと考えてみました。

セックス点挿カンジ4ジデ■トコ■ウエノ■カンキノ■カン点挿二■

セックス点挿カンジ2ジデ■ヨークノ■ヨート■カメ点挿ノ

点訳挿入符を頻繁につかうと読みづらいとは思いますが…、それと、時代物なので「セックス」という外来語は使うのは違和感があるのですが、この部分では外来語を使用するのは仕方がないのかなとあれこれ考えます…。

【回答】

原本は全体が時代物の会話や言葉使いで書かれていて、ルビは現代ではその表現では理解しにくい箇所に書かれているようですので、すべて本文の漢字仮名交じりの表現を主にし、ルビは後ろに第1カッコで囲んで書き、次回からは、漢字仮名交じりの方の表現で書く方が、原本全体の雰囲気に合わせていると思います。

「床上の歡」は「しょうじょうのかん」(同様の使い方「桑中の歡 そうちゅうのかん」という言葉があるようなので)

「養亀」は「ようき」と読んでよいと思います。亀を養うことを「ようき」という言葉があるようです。ルビがありますので、これらの当て字に点訳挿入符での説明はいらないと思います。

(1回目)

カーテン  
・帳幕  
チョーバク(カーテン)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

トップ  
・首座  
シュザ(トップ)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ホステス  
・酌取女  
シャクトリ■オンナ(ホステス)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

セックス  
・巫山靈雨  
ブザン■ウンウ(セックス)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

セックス  
・床上之歡  
ショージョーノ■カン(セックス)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

セックス  
・養亀  
ヨーキ(セックス)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(2回目以降)

チョーバク  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

シュザ  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

シャクトリ■オンナ  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ブザン■ウンウ  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ショージョーノ■カン  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ヨーキ  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

ようやく  
のならば、わしにもできる。だが、**巫山靈雨**の手解き  
の手に負えぬ。どうか、萬の兄い。  
**養亀**の愉悅を

長い帳幕を垂らしてもいいんだぜ。

始末人の首座だなんて

『点訳のてびき 192 ページ(3)』より

**処理** ▶ ルビ付きの漢字が繰り返し出てきたり、2回目以降ルビなしで出てきたときは、文脈から判断して、ルビを書くか元の漢字の読みを書く。

(3) ルビが言葉の説明などを示している場合は、ルビをカッコ類で囲んで書く。

エベレスト  
チョモランマ チョモランマ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

( 1 7 5 6 - 1 7 9 1 )  
Wolfgang Amadeus Mozart  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 1756 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

「かわいそうなもごさい話だね」 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠